



參檢部ノ内
26

第一問題
世界情勢判斷

昭和十七年三月七日
連絡會議決定案

12

0018

世界情勢分析

↑ 米英關係ノ執ルヘキ方策

米英ハ今後軍事的經濟的財政的其れ他各方面ニ於ケル効力ヲ益々緊密化
シ一體トナリテ樞軸國戰力ノ低下ニ努メツツ他面自己戰力ノ急速增強
ヲ圖リ先ツ其ノ對樞軸戰爭指導ノ重點ヲ歐洲ニ置キ、ソト相提携
シテ該方面ノ戰局ヲ有利ニ展開セシムルト共ニ對日反擊進攻據點ノ確
保強化ニ努メ、優勢ナル兵力ヲ保有スルニ至ラハ一舉對日反攻ヲ企圖ス

ヘシ

即チ

① 差當リ英ハ米ハソト相携ヘテ先ツ速ニ獨伊戰力ノ蒙蔽ヲ圖ルト共
ニ地中海及西亞方面ヲ確保シ日獨伊ノ提携阻止ニ努ムヘシ
尙英ハ東洋方面ニ於テハ對日反擊政ニ英帝國結合保持ノ爲メ極力印

度洋ノ制海權及印度亞ニ濠洲ヲ確保ニ努ムヘシ

④ 差當リ米ハ英ハソト相携ヘテ先ツ速ニ獨伊戰力ノ擊破ヲ圖ルト共

ニ濠洲及印度洋方面ニ於テハ對日反攻據點ノ確保強化ニ努メ且有力

ナル海上及航空兵力ヲ太平洋方面ニ集中シ其ノ一部ヲ以テ我カ海上

交通ノ妨害日本ノ中樞地區ニ對スル奇襲其ノ他各種ハゲリヲ戰ノ

實施ニ努ムヘシ

⑤ 米英ハ援「ソ」援蔣ニ力ヲ盡スヘク他方「ソ」ノ對日牽制行動乃至

ハ參戰ニ多大ノ期待ヲ掛ケ極力之カ實現ニ努メツツ差當リ密カニ東

部「ソ」領ニ對日進攻據點ノ獲得ヲ策スヘシ

⑥ 米英ハ戰力向上ノ時機ヲ見テ對樞軸大規模攻勢ニ轉スヘク之カ爲日

本ニ對シテハ「ソ」支ト提携シテ大陸方面ヨリ直接我中樞部ヲ衝ク

ニ努メツツ主力ヲ以テ濠洲及印度洋方面ヨリ逐次戦略要點ヲ奪回反撃シ來ル算大ナリ

而シテ其大規模攻勢ヲ企圖シ得ヘキ時機ハ概ネ昭和十八年以降ナルヘシ

參考

(一) 濠洲（新西蘭ヲ含ム）ノ情勢

(二) 濠洲ハ専ラ米及英ノ援助ニ頼リテ戦力ノ増強ニ努メ執効ニ對シ

抗戦繼續ヲ企圖スベシ

(三) 濠洲戦力増強ノ程度ハ米英間ノ交通路ノ状況ニ依存スヘク若シ交通路ノ遮断長期ニ亘ラハ増強ハ不可能トナルノミカ戦力ハ低下スヘシ

(3) 兵隊洲ハ漸次對英關係ニ於テハ自主的トナルヘキモ對米依存ノ度
チ増スヘシ

(4) 濠洲國防力ノ隆路ハ人口ノ少キコト及工業殊ニ重工業生産能力
貧弱ナルコトニ在リテ其ノ強味ハ衣食ニ關シテハ如何ナル長期
戦ニモ對處シ得ル點ニ在リ

ニ
印度ノ情勢

(1) 英米ハ印度ノ防衛ヲ強化スルト共ニ印將關係ノ緊密化ヲ圖リ抗
戰體勢ノ保持ニ努ムヘシ

(2) 將今后印將關係ハ援將アルトシノ開發計畫政英印妥協ニ關スル
將ノ仲介等ニ關聯シ漸次緊密化スヘシ

(3) 英ハ印島ノ印將關係ヲ利用シ米ノ支援ヲ得テ凡ユル手段ヲ盡

シテ印度民衆ヲシテ對樞軸戦争ニ全面的ニ協力セシムルコトニ
努ムヘシ

(4)

印度ニ於ケル反英運動ハ樞軸側ノ戦果ヲ擴大得ニ帝國ノイビル
マヒ占領並日獨ノ印度孤立化方策實現スルニ於テハ樞軸側ノ對
印内部工作ト相俟ツテ其ノ積極化ヲ見ルノ可能性アリ

↑
三
「ソ」聯邦ノ採ルヘキ方策

一、「ソ」聯邦ハ世界長期戦化ヲ日途トシツツ米英トノ提携協力ヲ強化シ對獨抗戦ニ専念スルニ努ムヘシ

此間「ソ」聯邦ハ差當リ帝國ニ對シ現状ヲ維持センコトヲ努ムヘシ

然レトモ米英ノ強要ニ依リテハ對日參戰ノ虞無シトセス特ニ春季獨

「ソ」戦カ「ソ」聯ニ有利ニ進展シタル場合ニハ帝國ノ對米英戦ノ

推移ニ伴ヒ帝國ノ戦力カ低下シ又ハ其ノ彈薬力ヲ失フニ於テハ米英

ト連繫スル「ソ」聯邦ノ對日參戰ヲ誘發スルノ算大ナリ又我カ對「ソ」

武力行使必至ト判断セル場合ニハ米ニ軍事基地ヲ供與スルト共ニ俄

ヨリ進ンテ優先ヲ制シ奇襲的攻撃ヲ敢行スルノ虞妙カリス

二、東部「ソ」領ニ於ケル現兵力ハ坦撃師團約二〇 戦車約一〇〇〇機

行機約一〇〇〇〇ハ日ソ間ノ現状變化ナキ限り本春以降ニ慮想
セヨルル獨ソノ戰況ノ推移如何ニ拘ニス大ナル變化ナカルヘシ

三、ソノ聯邦ハ援蔣行爲ヲ續行スルノ外我領導下ノ諸民族ニ對シ主ト

シテ思想戰ニ依リ擾亂ヲ策スヘシ

四、現情勢ニ於テハ獨ソノ和平ノ可能性ナカルヘシ

三、獨伊ノ採ルヘキ方策

一、獨軍ハ本冬季間概ネ對「ソ」攻勢準備ヲ整ヘ得ヘク本年春夏ノ候ニ於テ對「ソ」攻勢ヲ再興スヘシ。但本年中ニ「ソ」軍兵力ヲ徹底的ニ削減スルハ至難ナルヘク又之ニ依リ「ソ」スターリン政權崩壊ノ可能性ハ見込ナカルヘシ此間速カニ高加索ノ占領ヲ企圖スヘシ

二、獨ハ其ノ高加索作戰ノ進展ニ伴ヒ西亞ニ於ケル英勢力ノ一掃ヲ企圖シ帝國トノ連繫ニ努ムヘシ

右作戰ノ規模及進展ノ願望ハ一ニ「ソ」軍抗戰力ノ恢復程度及獨軍ノ攻勢準備完整程度及土國ノ向背如何ニ察ルモノニシテ今遽ニ確斷シ難シ

三、對英本土上陸作戰準備ハ依然之ヲ整ヘソツアルモ英ノ屈伏崩壊ノ後

到來セサル限り當分進テ之ヲ敢行スルコトナカルヘシ

但大西洋方面ニ於テハ依然對英封鎖ニ重點ヲ置キツツ逐次對米海上

交通破壞戰ヲ強化スヘク其效果ハ相當ニ期待シ得ヘシ

四、佛國ニ對シテハ逐次之ヲ繼續障礙ニ包擲スルニ努ムヘシ

五、現情勢ニ於テハ獨ハソハ和平ノ可能性ナカルヘシ

↑
重慶政權ノ動向

一、重慶政權ハ逐次抗戦力ヲ低下シ且其財政經濟状態ハ逼迫シアルモ尙
黨及軍ノ威力ヲ背景トシテ復強ナル抗日意識ヲ堅持シ反極軸陣營ノ
最後ノ勝利ヲ期待シアルヲ以テ未タ抗戦意志ヲ放棄スルニ至ラサル
ヘシ而シテ此間益々ソ連トノ提携強化及印度民族トノ接近ヲ計ル
ト共ニ抗日陣營ノ統一ニ努力スルモノト認メラル

二、米英ノ援將ルルト山ノ遮断。極軸側戦果ノ擴大其他米英「ソ」依
存ノ頼ミ難キ情勢現出シ且我國力遞増スルヲ見ルニ至ラハ遂ニ其ノ
抗戦體制ノ崩壊ヲ招來スヘシ

↑ 本、中立諸國ノ動向

一、佛國ノ動向

佛國ハ依然灰色の態度ノ持續ニ努メ對獨協力ノ積極化ハ向躊躇シ

二、葡國ノ動向

葡國^{ポルトガル}ハ現情勢ニ於テハ其領土權力尊重セヨルル限リナルヘク長ク中立的態度ヲ維持スルニ努ムヘシ

三、拉米ノ動向

アルゼンチン山、チリ山ハ差當リ中立的態度ヲ維持スヘキモ早晩米ニ追従スルノ虞大ナリ

四、トルコノ動向

23

依然中立ヲ堅持スルニ努ムヘキモ本春以後獨軍ノ高舉案作戰順調ニ
進歩スルニ於テハ樞軸側ニ參加スルニ至ルノ公算多シ

兵西國ノ動向

西班牙ハ今直チニ樞軸側ニ參加シ得サル状態ニ在リ

↑ 彼我國力推移
第廿、米英ノ戦争遂行能力
其の

一、米 國

米國ハ專ニ生産部門ノ隘路是正及國家總力戰賦勢ノ確立ニ努力シ
繼ホ一九四四年末期ニ至ル間其ノ軍備及軍需生産能力ハ飛躍的ニ
上昇スヘシ

然レトモ爾後ハ對外依存資源、勞力、輸送力等ノ不足ニヨリ生産
力ノ増勢漸ク停滞ノ傾向ヲ示ス可能性アリ

二、英 國

現情勢ヲ以テ推移セハ今後尙若干ノ戦力ヲ増加スヘシ
然レトモ英本國ハ人的資源ニ於テ殆ント限度ニ達シアリ物的資源

亦海外將ニ米ニ依存セサルヘカニサル状況ニアルヲ以テ制海權盛
屬領殖民地ノ喪失ニ伴ヒ遂ニ其ノ戰爭遂行能力ハ低下ノ傾向ヲ示
ササルヲ得サルニ至ルヘシ

三 米英戰爭遂行能力ノ綜合的觀察

米英合作ノ綜合戰爭遂行能力ハ強大ニシテ我ニ對シ優勢ナル戰力
ヲ達成シ且長期ニ亘リ戰爭ヲ遂行シ得ル能力ヲ有ス

其ノ戰意モ亦一般ニ旺盛ナルモノアリト雖モ左ノ如キ幾多ノ脆弱
點ヲ包藏シアリ

(1) 人的戰力ハ物的戰力ニ伴ハサルヘシ

(2) 物的戰力膨大ナルモ米英將ニ米ノ政治經濟機構ハ今尙國家總力

戰ニ必要ナル臨戰態勢ヲ整備シ居ラス之ヲ確立ニハ今後幾多ノ

離襟紛糾ヲ生スヘシ

(3) 優勢ナル軍備ヲ有スルモ之カ進攻據點ノ喪失ハ其ノ價值ヲ大イニ減殺ス

27

(4) 英ノ戦争遂行能力ハ海上輸送力ニ依存スルトコロ慮ンテ大ナリ

(5) 米ノ海上輸送能力ハ國力ニ比シ貧弱ニシテ援兵ニ徹底シ得ス

(6) 米英ノ離断分離カ其ノ戦争遂行能力ニ及ホス影響ハ日獨間離断分離ノ比ニアラス

(7) 英國ハ自治領植民地等トノ離断分離ニヨリ遂ニ崩壊ヲ來ス虞アリ

(8) 米英國民ハ生活程度高ク之カ低下ハ其ノ頗ル苦痛トスルトコロ

ニシテ戦捷ノ希望ナキ戦争繼續ハ社會不安ヲ醸成シ一般ニ士氣

18

0033

ノ要領ヲ相來スヘシ殊ニ英ノ敗戦カ米ニ及ホス影響ハ僅ノテ大
ナリ

(9) 米英ノ結合ハ自然ナルモ不英(9)ノ(9)ノ提携ハ不自然ニシテ其間

幾多ノ矛盾ヲ有ス

(10)

ルーズベルト(10)ノチャーチル(10)ノ政策ハ如何モスレハ彼(10)ノ

彼(10)ニ強シ國民必スシモ其ノ指導ニ悦服シ居ラス

第三、ソ連ノ戦ヲ遂行能力

一、現状ニ於テハ低装備ノ組織約二〇〇師團ヲ以テスル東西南正面同

時作戦ノ遂行ハ可能ナルヘシ

(1) 人的資源豊富ナリ

(2) 今春頃ノ軍需工業能力ハ獨ソ連開戦前ノ約五割ナリ

(3) 糧食ハ十分ナリ

(4) スターリンニ對スル信望厚ク軍民共ニ目下ノトコロ抗戦意

識旺盛ナリ

二、高加索ノ喪失ハソ連ノ物的抗戦力ニ大ナル低下ヲ來スヘキモ

是當リ本年對獨戦ノ遂行ハ支障ナカルヘシ

三、若シ今ソ連軍ニシテ長クムレニシテモスクワ附近

迎高崇素ヲ確保スルニ於テハ本年秋頃迄ニ其ノ能力ヲ若干（今秋
頃ニハ開城前ノ七割程度）向上スヘキモ爾後ノ増勢度ハ速ノテ緩
慢ナルヘシ

30

第三、獨伊ノ戦争遂行能力

一、獨國

現國力ヲ概ネ維持シ得ヘシ

(1) 對ソノ攻勢作戰遂行ニハ差當リ支障ナシ然レトモ本年度内ニ

ソコトカサスニ作戰終結セサレハ爾後大規模ナル作戰ヲ實施ス

ルタノニハ石油資源不足スル莫アリ

(2) 人的資源及軍需工業能力ハ十分ナリ

(3) 糧食ハ勢力圈内ノ需要ヲ概ネ充實シ得

(4) 空軍ヒットラーニ對スル信望厚ク軍民共ニ戰爭意志旺盛ナリ

二、伊國

伊ノ戦争遂行能力ハ獨ニ依存スル所少ナカラズ

獨伊間ノ交通確保セラルル限り伊ハ其ノ戦力維持ニ大ナル困難ナ
カルヘシ

20

32

0038